

I. 口演（学会、国際学会、講演、一般向け講演会、一般向け公開講座 等）

永本敏之：IOLの変遷と今後（教育講演）. 第63回日本眼科医会生涯教育講座, 名古屋, 平成24年4月1日.

中山京子, 井上真, 平形明人：脈絡膜骨腫の自発蛍光所見の有用性. 第116回日本眼科学会総会, 東京, 平成24年4月5-8日.

永本敏之：小児の白内障手術（教育セミナー「白内障手術 難症例」）. 第116回日本眼科学会総会, 東京, 平成24年4月5-8日.

渡辺交世, 慶野博, 瀧和歌子, 越前成旭¹, 岡田アナベルあやめ（¹ 聖路加国際病院）：インフリキシマブ治療を導入した若年性ベーチェット病ぶどう膜網膜炎の2症例. 第116回日本眼科学会総会, 東京, 平成24年4月5-8日.

井上 真：増殖硝子体手術侵襲の評価「増殖性疾患の手術」. 第116回日本眼科学会総会シンポジウム, 東京, 平成23年4月5-8日.

慶野博：シンポジウム 12 眼炎症疾患のメカニズム最前線レチノイドによる眼炎症性疾患の制御. 第116回日本眼科学会総会, 東京, 平成24年4月5-8日.

Hirakata A: Complications of vitrectomy for traction maculopathy in high myopic eyes. The 27th Asia Pacific Academy of Ophthalmology Congress, Busan Korea, Apr. 13-16, 2012.

Konno K, Hirakata A, Joshita T, Okisaka S¹ (¹ Ophthalmic Pathology Education Laboratory): Clinical and pathological analysis of malignant melanoma of lacrimal sac. The 27th Asia Pacific Academy of Ophthalmology Congress, Busan Korea, Apr. 13-16, 2012.

Inoue M, Kawamura R¹, Shinoda K^{1,2}, Noda T³, Hirakata A(¹ Department of Ophthalmology, Keio Univ School of Med, ² Department of Ophthalmology, Teikyo Univ School of Med, ³ Departement of Ophthalmology, National Hosp Organization Tokyo Medical Center): Reproducing subjective visual sensations experienced during vitreous surgery. The 27th Asia Pacific Academy of Ophthalmology Congress, Busan Korea, Apr. 13-16, 2012.

Nakayama K, Inoue M, Hirakata A, Keino H, Okada AA: Fundus autofluorescence findings in casea of Choroidal Osteoma. The 27th Asia Pacific Academy of Ophthalmology Congress, Busan Korea, Apr.

13-16, 2012.

Okada AA : 「Update on epidemiology, evaluation and treatment of uveitis」、 「Vogt-Koyanagi-Harada disease, Behcet's disease, and scleritis」, Retinal Update Course, Honolulu, Apr 14, 2012

Hirakata A, Taniuchi S, Inoue M, Hirota K: Myopic traction maculopathy. Duke Eye Center 17th Advanced Vitreous Surgery Course, Durham USA, Mar. 3-5, 2012.

Hirakata A: Vitrectomy without laser treatment or gas tamponade for optic disc pit maculopathy. Duke Eye Center 17th Advanced Vitreous Surgery Course, Durham USA, Mar. 3-5, 2012.

Itoh Y, Inoue M, Rii T, Hirakata A: Significant correlation between the repair of cone outer segment and visual recovery after surgery for epiretinal membrane. ARVO Annual Meeting, Florida, USA, May 6-10, 2012.

平形明人：乳頭形態異常に伴う網膜剥離における眼内液と脳脊髄液の交流の可能性。第 57 回山陰眼科集談会，第 86 回鳥取大学眼科研究会，米子市，平成 24 年 5 月 13 日。

今野公士：眼瞼疾患の症例提示。4th Eye Center Summit，東京，平成 24 年 5 月 19 日。

岡田アナベルあやめ：「非感染性ぶどう膜炎に対する薬物治療」。平成 24 年度九州ブロック眼科講習会「眼科薬物治療の進歩」，福岡，平成 24 年 5 月 27 日。

米谷昇子¹，阿部晶子¹，鳥村祥子¹，山本亜希子，岡田アナベルあやめ（¹杏林大学附属病院 1-5 病棟）：硝子体注射を受ける患者への取り組み～看護師の個別の関わりへの導入～。第 28 回日本眼科看護研究会，大阪，平成 24 年 6 月 2-3 日。

永本敏之：IOL の形状と後発白内障抑制（シンポジウム「後発白内障抑制と治療の進歩」）。第 27 回日本白内障屈折矯正手術学会・第 51 回日本白内障学会，東京，平成 24 年 6 月 15-17 日。

永本敏之：眼内レンズ交換（シンポジウム「眼内レンズ挿入術後屈折誤差への対処法」）。第 27 回日本白内障屈折矯正手術学会・第 51 回日本白内障学会，東京，平成 24 年 6 月 15-17 日。

永本敏之：超高齢者、認知症（シンポジウム「難症例への白内障」）。第 27 回日本白内障屈折矯正手術学会・第 51 回日本白内障学会，東京，平成 24 年 6 月 15-17 日。

永本敏之：整容的白内障手術（アフタヌーンセミナー「白内障手術体験アンビリバボー3」）.
第 27 回日本白内障屈折矯正手術学会・第 51 回日本白内障学会，東京，平成 24 年 6 月 15-17
日.

二宮夕子，松木奈央子，渡辺交世，並木泉，永本敏之：杏林アイセンターにおける水晶体嚢内
摘出術（ICCE）の成績. 第 27 回日本白内障屈折矯正手術学会・第 51 回日本白内障学会，東京，
平成 24 年 6 月 15-17 日.

Hirakata A, Ohno-Matsui K¹, Inoue M, Ishibashi T²(¹Department of Ophthalmology and Visual Science,
Tokyo Medical and Dental University, Tokyo, Japan, ²Department of Ophthalmology, Kyushu
University, Fukuoka, Japan): Swept Source Optical Coherence tomography findings for ecaluation of
abnormal structure of optic disc pits. the 28th Meeting of the Clus Jules Gonin, Reykjavik Iceland,
Jun. 20-23, 2012.

永本敏之：種々の難症例に対する白内障手術。（特別講演）第 17 回とやま眼科学術講演会，富
山，平成 24 年 6 月 23 日.

岡田アナベルあやめ：「AMD の治療：光と陰」. 府中市医師会眼科部会学術勉強会，府中，平成
24 年 6 月 30 日.

岡田アナベルあやめ：「ぶどう膜炎の CME」. 第 4 回大阪黄斑セミナー，大阪，平成 24 年 7 月 7
日.

肥留川京子，慶野博，渡辺交世，瀧和歌子，平形明人，岡田アナベルあやめ：網膜動静脈閉塞
症に対してステロイドパルス療法が奏功した SLE 網膜症の 1 例. 第 46 回日本眼炎症学会，横
浜，平成 24 年 7 月 14-15 日.

慶野博，渡辺交世，瀧和歌子，岡田アナベルあやめ：インフリキシマブ長期投与ベーチェット
病患者の蛍光眼底造影の推移. 第 46 回日本眼炎症学会，横浜，平成 24 年 7 月 14-15 日.

慶野博：特別講演ベーチェット病治療の最近の進歩. 第 9 回免疫疾患フォーラム，筑波，平成
24 年 7 月 19 日.

山本亜希子：AMD 治療のタイミング. 調布市眼科医会学術講演会，調布市，平成 24 年 7 月 19 日.

山本亜希子，岡田アナベルあやめ，利井東昇，國田大輔，横田怜二，杉谷篤彦：「難治性滲出型加齢黄斑変性に対する ranibizumab 併用 PDT 後の治療反応」. 第 29 回眼循環学会，秋田，平成 24 年 7 月 27-28 日.

永本敏之：水晶体疾患. 平成 24 年度卒後研修会，東京，平成 24 年 7 月 28 日.

渡辺敏樹，気賀沢一輝，横田怜二：側頭動脈炎に伴う前部虚血性視神経症の 2 症例. 第 28 回真鶴セミナー，茨城，平成 24 年 7 月 28 日.

永本敏之：白内障難症例への対処. (特別講演) 順天堂練馬病院眼科学術講演会，東京，平成 24 年 8 月 2 日.

Inoue M: Advancement of Microincision Vitrectomy Surgery. Tianjin International Ophthalmology Forum 2012, Tianjin, China, Aug 3-5, 2012.

今野公士：メジカラ in the life. 日本眼科学会主催箱根サマーキャンプ，箱根，平成 24 年 8 月 5 日.

井上 真：「ピットの底」第 11 回信濃町網膜研究会. 東京，平成 24 年 8 月 10 日.

永本敏之：難症例の白内障手術. (特別講演) 北大 ALCON セミナー，札幌，平成 24 年 8 月 11 日.

平形明人：乳頭 Pit の Swept Source OCT 所見. 第 14 回 Japan Macula Club，蒲郡，平成 24 年 8 月 18-19 日.

井上 真：「アキュフォーカス挿入眼の眼底視認性」第 14 回 Japan Macula Club. 蒲郡，平成 24 年 8 月 18-19 日.

永本敏之：白内障難症例. (特別講演) 札幌眼科手術の会セミナー，札幌，平成 24 年 8 月 25 日.

Inoue M, Itoh Y, Watanabe N, Hirakata A: Wound closure evaluated with two different types of optical coherence tomography. the 30th ASRS Annual Meeting 2012, Aug. 25-29, 2012.

井上 真：「小切開硝子体手術の進歩」第 3 回秋田県網膜硝子体研究会. 秋田，平成 24 年

9月1日.

井上 真：「硝子体手術最新手技」，第5回Next generation Workshop，平成24年9月.

永本敏之：最新の白内障手術での眼内レンズの選択肢と手術後の見え方。（市民公開講座）「最新の白内障手術を知ろう」大阪，平成24年9月3日.

満川忠宏，柳沼重晴，今野公士，松崎淳，渡邊敏樹，気賀沢一輝，石田正¹⁾，大石知瑞子²⁾，平形明人(¹⁾杏林大皮膚科，²⁾杏林大神経内科)：水痘・帯状疱疹ウイルス感染を契機とした眼窩先端部症候群の1例，東京，平成24年9月4日.

今野 公士：身近な眼瞼、涙道疾患および眼窩疾患。日本アルコン社内学術講演，東京，平成24年9月5日.

平形明人：糖尿病網膜症治療の現状。第10回記念南多摩糖尿病教育研究会，多摩市，平成24年9月6日.

五月女典久：公立阿伎留医療センター眼科の現状。西多摩地区病診連携会，立川，平成24年9月6日.

Matsuki N, Watanabe T, Ninomiya Y, Inoue M, Nagamoto T: Cataract surgery in eyes with a low corneal endothelial cell density. XXX congress of The European Society of Cataract & Refractive Surgeons, Milan, Sep 8-12. 2012.

Ninomiya Y, Matsuki N, Watanabe T, Namiki I, Inoue M, Nagamoto T: Cataract surgery in eyes with congenital aniridia. XXX congress of The European Society of Cataract & Refractive Surgeons, Milan, Sep 8-12. 2012.

山本亜希子：私達のルセンティス治療経験から-aggressive PRN のすすめ-。第3回宮崎 AMD研究会，宮崎，平成24年9月22日.

井上 真：「小切開硝子体手術の進歩」第16回網膜硝子体セミナー。東京，平成24年10月4日.

Okada AA, Goto H, Ohno S, Mochizuki M, Ocular Behcet's Disease Research Group of Japan :

「Multicenter study of infliximab for refractory uveoretinitis in Behcet's Disease」, The Retina Society 45th Annual Scientific Meeting, Washington DC, Oct 4-7.2012.

尾形真樹, 山本亜紀子, 新井千賀子, 岡田アナベルあやめ, 平形明人, 小田浩一: 抗新生血管療法により視力改善したが読書には拡大鏡が必要であった加齢黄斑変成の一例. 第13回日本ロービジョン学会学術総会, 東京, 平成24年10月6-7日.

Ogata M, Yamamoto A, Arai C, Okada AA, Hirakata A, Oda H. [A patient with age-related macular degeneration treated with anti-neovascular membrane therapy requiring magnifying glasses for reading despite improved visual acuity] 10th General Meeting of the Japanese Low Vision Society, Tokyo, Oct 6-7.2012.

井上 真: 「小切開硝子体手術の進歩」. 第75回香川大学眼科研究会. 香川, 平成24年10月13日.

満川忠宏, 柳沼重晴, 今野公士, 松崎淳, 渡邊敏樹, 気賀澤一輝, 平形明人: 水痘帯状ヘルペスウイルス感染を契機とした右眼窩先端症候群の1例. 第55回東京多摩地区眼科集談会, 三鷹市, 平成24年10月13日.

斎藤恒浩, 廣田和成, 井上真, 平形明人, 野村昌弘¹ (¹ 共済立川病院): von Hippel Lindau 病の傍乳頭血管腫に対する治療経験. 第55回東京多摩地区眼科集談会, 三鷹市, 平成24年10月13日.

山本亜希子, 岡田アナベルあやめ, 利井東昇, 國田大輔, 横田怜二, 杉谷篤彦¹ (¹ 久我山病院): 網膜血管腫状増殖に対する ranibizumab 単独療法の治療経過. 第66回日本臨床眼科学会, 京都, 平成24年10月24-28日.

慶野博, 渡辺交世, 瀧和歌子, 岡田アナベルあやめ: EDI-OCT を用いた交感性眼炎回復期の脈絡膜厚の評価. 第66回日本臨床眼科学会, 京都, 平成24年10月24-28日.

大槻勝紀¹, 鈴木直洋¹, 藤井澄¹, 土ヶ内建史¹, 宇田重員¹, 平形明人 (¹ 二本松眼科): 網膜静脈閉塞症の他眼における超広角走査レーザ蛍光眼底造影所見. 第66回日本臨床眼科学会, 京都, 平成24年10月25-28日.

横田怜二, 平形明人, 廣田和成, 利井東昇, 伊東裕二, 國田大輔, 折原唯史, 井上真: 強度近視性牽引性黄斑症の摘出内境界膜の組織学的検討. 第66回日本臨床眼科学会, 京都, 平成24

年 10 月 25-28 日.

今野公士, 柳沼重晴, 平形明人, 近藤義之¹ (1 近藤眼科): 慢性涙嚢炎に対する涙道内視鏡観察下シリコンチューブ挿入術の治療経験. 第 66 回日本臨床眼科学会, 京都, 平成 24 年 10 月 25-28 日.

安藤良将, 久須見有美, 柴田朋宏, 井上真, 平形明人, 大野京子¹ (1 東京医歯科・眼科): 非強度近視眼の intrachoroidal cavitation に合併した黄斑剥離の治療経験. 日本強度近視眼底研究会, 第 66 回日本臨床眼科学会, 京都, 平成 24 年 10 月 25-28 日.

折原唯史, 廣田和成, 国田大輔, 伊東裕二, 横田怜二, 利井東昇, 村井秀樹, 柴田朋宏, 平岡智之, 井上真, 平形明人: 杏林アイセンターの強度近視眼の裂孔原性網膜剥離の統計. 日本強度近視眼底研究会 第 66 回日本臨床眼科学会, 京都, 平成 24 年 10 月 25-28 日.

永本敏之: 小児対策 (シンポジウム「白内障手術の周術期管理」). 第 66 回日本臨床眼科学会, 京都, 平成 24 年 10 月 25-28 日.

永本敏之: 眼内レンズ交換 (インストラクションコース「難症例・合併症例の白内障手術」). 第 66 回日本臨床眼科学会, 京都, 平成 24 年 10 月 25-28 日.

永本敏之: 白内障手術における Viscoadaptive 型 OVD の有用性. (ランチョンセミナー「Viscoadaptive 型 OVD の使い手になろう」第 66 回日本臨床眼科学会, 京都, 平成 24 年 10 月 25-28 日.

松木奈央子, 渡辺交世, 柳沼重晴, 永本敏之: 先天白内障眼の角膜乱視. 第 66 回日本臨床眼科学会, 京都, 平成 24 年 10 月 25-28 日.

城下哲夫, 柳沼重晴, 渡辺交世, 松木奈央子, 永本敏之: 超高齢者の白内障手術. 第 66 回日本臨床眼科学会, 京都, 平成 24 年 10 月 25-28 日.

渡辺交世, 松木奈央子, 柳沼重晴, 永本敏之: 認知症の白内障手術. 第 66 回日本臨床眼科学会, 京都, 平成 24 年 10 月 25-28 日.

五月女典久, 堀江大介, 村井顕子, 山口靖子, 稲見達也, 吉野啓: 杏林アイセンターにおける線維柱帯切開術の検討. 第 66 回日本臨床眼科学会, 京都, 平成 24 年 10 月 25-28 日.

江本宜暢, 笹井英明, 山添克弥, 鎗田理沙, 堀田順子, 堀田一樹 : Leber 特発性星芒状視神経網膜炎のスペクトラルドメイン OCT. 第 66 回日本臨床眼科学会、京都、平成 24 年 10 月 27 日.

慶野博 : 特別講演難治性眼炎症疾患に対する新しい治療戦略-基礎研究からのアプローチ-. 第 33 回 西中国眼疾患フォーラム, 宇部, 平成24年11月1日.

新井千賀子, 尾形真樹, 小田浩一¹, 井上真, 岡野芝子, 平形明人, 石田均² (¹東京女子大, ²杏林大・糖尿病・内分泌・代謝内科) : 糖尿病網膜症患者の Quality of Life の分析. 第 27 回日本糖尿病合併症学会第 18 回日本糖尿病眼学会総会, 福岡, 平成 24 年 11 月 2-3 日.

伊東裕二, 伊東真知子, 井上真, 勝田秀紀¹, 石田均¹, 平形明人 (¹杏林大・糖尿病・内分泌・代謝内科) : 増殖糖尿病網膜症に対する硝子体手術の予後と術前眼科通院のコンプライアンスとの関係. 第 27 回日本糖尿病合併症学会第 18 回日本糖尿病眼学会総会, 福岡, 平成 24 年 11 月 2-3 日.

小沼裕寿¹, 高橋和人¹, 勝田秀紀¹, 田中利明¹, 西田進¹, 犬飼浩一¹, 石田均¹, 國田大輔, 折原唯史, 廣田和成, 平岡智之, 井上真, 平形明人 (¹杏林大・糖尿病・内分泌・代謝内科) : インクレチン関連薬投与における糖尿病網膜症進展抑制に関する観察研究. 第 27 回日本糖尿病合併症学会第 18 回日本糖尿病眼学会総会, 福岡, 平成 24 年 11 月 2-3 日.

平形明人 : 糖尿病網膜症の現状と病診連携. 第 18 回日本糖尿病眼学会総会, 福岡, 平成 24 年 11 月 3 日.

今野 公士 : 社内招聘勉強会～眼瞼眼窩疾患にムコスタ点眼を使用してみた～. 大塚製薬社内学術講演, 立川市, 平成 24 年 11 月 7 日.

廣田和成, 慶野 博, 井上 真, 渡邊 卓, 石田 均, 平形明人 : 眼内における microRNA (miRNA) の発現解析. 第 41 回杏林医学会総会, 平成 24 年 11 月 14 日.

渡辺敏樹, 気賀沢一輝, 吉川泉, 平形明人 : レーベル病の高齢女性に発症した抗アクアポリン 4 抗体陽性視神経炎の 1 例. 第 50 回日本神経眼科学会, 京都, 平成 24 年 11 月 17 日.

新井千賀子, 尾形真樹, 田中恵津子, 小田浩一, 岡田アナベルあやめ, 平形明人 : 加齢黄斑変性のロービジョンケア介入前の Quality of Life (QOL) の特徴. 第 53 回日本視能矯正学会, 横浜, 平成 24 年 11 月 10-11 日.

金崎有祐，大橋和広，大川原潤，大澤亮子，湯口琢磨，大城三和子，海谷忠良：トリーリック IOL の術後成績. 第 29 回遠州眼科医会集談会，静岡，平成 24 年 11 月 17 日.

伊東裕二，井上真，平形明人：眼底画像診断機器の進歩. 第 14 回西東京眼科フォーラム，武蔵野市，平成 24 年 11 月 21 日.

利根川美香，鈴木由美：当科斜視弱視外来の現況（斜視症例呈示）. 第 14 回西東京眼科フォーラム，東京，平成 24 年 11 月 21 日.

平形明人：バックリング手術の実際. 第 51 回日本網膜硝子体学会総会，甲府市，平成 24 年 11 月 30 日.

山本亜希子 岡田アナベルあやめ 利井東昇 横田怜二 杉谷篤彦：滲出型加齢黄斑変性に対するranibizumab硝子体内投与3年間の治療成績. 第51回日本網膜硝子体学会総会，甲府，平成 24 年 11 月 30 日-12 月 2 日.

平形明人：進化しつづける MIVS. 第 51 回日本網膜硝子体学会総会，甲府市，平成 24 年 12 月 1 日.

岡田アナベルあやめ：「蛍光眼底造影検査の読影（確定診断）」. 眼科 PDT 講習会，東京，平成 24 年 12 月 9 日.

平形明人：網膜疾患の治療方針 最新情報 —高度近視・黄斑分離症・黄斑円孔網膜剥離—. 第 34 回城南眼科集談会，東京，平成 24 年 12 月 13 日.

岡田アナベルあやめ：「AMD 治療の進歩、課題と最新情報」. 第 34 回城南眼科集談会，東京，平成 24 年 12 月 13 日.

井上 真：ファイザーランチョンセミナー. みんなが聞きたい 25GMIVS の特殊手技「黄斑下血腫の対する治療方針」. 福岡，平成 25 年 1 月 25 日.

柳沼重晴，永本敏之，東 範行¹⁾：全国調査結果から見た日本における先天白内障の特徴.

1)：国立成育医療研究センター眼科，第 36 回日本眼科手術学会，福岡，平成 25 年 1 月 25-27 日.

渡辺交世, 松木奈央子, 柳沼重晴, 並木泉, 永本敏之: Ozil Custom Pulse Mode と IP の比較 - 累積使用エネルギーおよび角膜内皮減少率. 第 36 回日本眼科手術学会, 福岡, 平成 25 年 1 月 25-27 日.

永本敏之: 浅前房、IMS (教育セミナー: 難症例に対する白内障手術). 第 36 回日本眼科手術学会, 福岡, 平成 25 年 1 月 25-27 日.

江本宜暢, 笹井英明, 山添克弥, 鎗田理沙, 堀田順子, 堀田一樹: アマンタジンによる角膜浮腫症例に対する硝子体手術. 第 36 回日本眼科手術学会総会、福岡市、平成 25 年 1 月 26 日

井上 真: VRTec 「Vit enhancer 使ってみました」. 福岡, 平成 25 年 1 月 26 日.

井上 真: 教育セミナー 黄斑手術の基本手技 「後部硝子体剥離の基本手技」. 第 35 回日本手術学会総会, 福岡, 平成 25 年 1 月 26 日.

今野 公士: 身近な眼瞼、涙道疾患および眼窩疾患. 西東京眼科医会 学術講演会, 西東京市, 平成 25 年 1 月 29 日.

山本亜希子: AMD に対するルセンティス治療-3年間の経験をもとに-. 第10回Sendagi macula senimar, 東京, 平成24年1月30日.

Okada AA: 「Cystoid macular edema in uveitis」, 「Posterior uveitis: noninfectious」, 「Differential diagnosis of posterior uveitis」, 4th Uveitis Course, cosponsored by the International Uveitis Study Group and the International Council of Ophthalmology, Venice, Feb 9-15.2012.

平形明人: 糖尿病網膜症治療の現状と課題. 東京保険医協会糖尿病症例研究談話会, 東京, 平成 25 年 2 月 13 日.

中島史絵、井之川宗右、永本敏之: 帯状角膜変性症に対する EDTA 治療の効果と角膜屈折力への影響. 角膜カンファレンス 2013, 和歌山, 平成 25 年 2 月 14-16 日.

中島史絵、井之川宗右、瀧浦俊彦、永本敏之: 広汎性発達障害の偏食によるビタミンA欠乏により眼球乾燥症をきたした1例. 角膜カンファレンス 2013, 和歌山, 平成 25 年 2 月 14-16 日.

平形明人: 眼底自発蛍光 (FAF) の臨床. 第 60 回静岡県眼科医会集談会, 静岡市, 平成 25 年 2 月 23 日.

平形明人：乳頭ピット及び強度近視に合併する黄斑分離様形態の比較．第2回名大OCT勉強会，名古屋市，平成25年3月2日．

井上 真： Peripapillary staphylomaに伴う網膜剥離 第20回Midtown Retina Club．東京，平成25年3月2日．

平形明人：脈絡膜腫瘍の診断と対応．新・眼科診療アップデートセミナー2013 in Kyoto, 京都市，平成25年3月2-3日．

平形明人：乳頭ピット黄斑症候群における眼内液と脳脊髄液の交流の可能性．Retina Glaucoma Club 2013, 大阪市，平成25年3月9日．

今野 公士：身近な眼瞼、涙道疾患および眼窩疾患．参天製薬社内学術講演，立川市，平成25年3月11日．

岡田アナベルあやめ：「眼炎症疾患：最近のトピックより」．第111回倉敷眼科臨床懇話会，倉敷，平成24年3月14日．

平形明人：視神経乳頭部先天異常に伴う網膜剥離～髄液と眼内液の交流の可能性～．第35回大阪医科大眼科セミナー，高槻市，平成25年3月23日．

平形明人：糖尿病網膜症治療の現状と課題．目黒区医師会学術講演会，東京，平成25年3月27日．

今野 公士：身近な眼瞼、涙道疾患および眼窩疾患．調布眼科医会 学術講演会，調布市，平成25年3月28日．

平形明人：糖尿病網膜症治療の現状と課題．北小諸佐久学術講演会，小諸市，平成25年3月29日．

II. 論文

Hirota K, Hirakata A, Inoue M, Hiraoka T: Bilateral exudative retinal detachment due to retinal pigment epithelial tears successfully treated by vitrectomy and scleral window surgery. Acta Ophthalmol 90:e325-6, 2012.

Itoh Y, Inoue M, Rii T, Hiraoka T, Hirakata A: Correlation between Length of Foveal Cone Outer Segment Tips Line Defect and Visual Acuity after Macular Hole Closure. *Ophthalmology* 119:1438-46, 2012.

Ohno-Matsui K¹, Akiba M², Moriyama M¹, Ishibashi T³, Hirakata A, Tokoro T¹ (¹Department of Ophthalmology and Visual Science, Tokyo Medical and Dental University, Tokyo, Japan, ²Topcon Corporation, Tokyo, Japan, ³Department of Ophthalmology, Kyushu University, Fukuoka, Japan): Intrachoroidal Cavitation in Macular Area of Eyes With Pathologic Myopia. *Am J Ophthalmol* 154:382-93, 2012.

Rii T, Hirakata A, Inoue M: Comparative findings in childhood-onset versus adult-onset optic disc pit maculopathy. *Acta Ophthalmol* 2012 May [Epub ahead of print].

Nakayama M, Keino H, Hirakata A, Okada AA, Terado Y: Exudative retinal astrocytic hamartoma diagnosed and treated with pars plana vitrectomy and intravitreal bevacizumab. *Eye* 26:1272-3, 2012.

Itoh-Tanimura M, Hirakata A, Itoh Y, Sano ME, Inoue M, Ishida H¹(¹Third Department of Internal Medicine, Kyorin University School of Medicine, Tokyo, Japan): Relationship between compliance with ophthalmic examinations preoperatively and visual outcome after vitrectomy for proliferative diabetic retinopathy. *Jpn J Ophthalmol* 56:481-7, 2012.

城下哲夫, 柴田朋宏, 利井東昇, 井上真, 平形明人: 裂孔原性網膜剥離を合併した Peters 奇形の一例. *眼科* 54:939-944, 2012.

久須見有美, 堀江大介, 今野公士, 井上真, 平形明人: ベバシズマブ硝子体内投与が有効であった血管新生緑内障をきたした放射線網膜症の1例. *眼科* 54:1825-1830, 2012.

柴田朋宏, 井上真, 廣田和成, 平岡智之, 平形明人, 大槻勝紀¹, 宇多重員¹ (¹二本松眼科): 眼内レンズ縫着術後に生じた後眼部合併症の臨床的特徴. *日眼会誌* 117:19-26, 2013.

伊東 裕二, 井上 真, 平岡 智之, 三木 大二郎, 平形 明人. 膨化 MIRAge1 が眼内に嵌入した1例. *眼科手術* 25 (3) : 435-439, 2012.

Hirakata A, Inoue M, Hiraoka T, McCuen II BW: Auther Reply. *Ophthalmology* 120: 878-879, 2013.

永本敏之：白内障の症状と手術適応（総説）. 日本医師会雑誌 141:776-779, 2012.

永本敏之：私と白内障手術：先輩からのメッセージ（総説）. IOL&RS 26:121-123, 2012.

Okada AA, Goto H, Ohno S, Mochizuki M, Ocular Behcet's Disease Research Group of Japan. Multicenter study of infliximab for refractory uveoretinitis in Behcet's disease. *Arch Ophthalmol* 130:592-598, 2012.

Davis EJ, Rathinam SR, Okada AA, Tow SL, Graham EM, Petrushkin H, Chee SP, Guex-Crosier Y, Mackensen F, Tugal-Tutkun I, Cunningham ET, Leavitt JA, Mansour AM, Winthrop KL, Smith JR. Clinical spectrum of tuberculous optic neuropathy. *J Ophthalmic Inflamm Infect* DOI 10.1007/s12348-012-0079-5, 2012.

Kimura K, Usui Y, Goto H and the Japanese Intraocular Lymphoma Study Group (including Okada AA). Clinical features of 246 patients with intraocular lymphoma. *Jpn J Ophthalmol* 56:383-389, 2012.

Nakayama M, Keino H, Hirakata A, Okada AA, Fujino T, Terado Y. Exudative retinal astrocytic hamartoma diagnosed and treated with pars plana vitrectomy and intravitreal bevacizumab. *Eye* 29:1272-1273, 2012.

Nakayama M, Keino H, Watanabe T, Inoue M, Hirakata A, Okada AA. Enhanced depth imaging optical coherence tomography of the choroid in acute Vogt-Koyanagi-Harada disease. *Retina* 32:2061-2069, 2012.

Okada AA, Stanford M, Tabbara K. Ancillary Testing, Diagnostic/Classification Criteria and Severity Grading in Behçet's Disease. *Ocul Immunol Inflamm* 2012 Dec;20(6):387-93.

Iwahashi-Shima C, Azumi A, Ohguro N, Okada AA, Kaburaki T, Goto H, Sonoda K-H, Namba K, Mizuki N, Mochizuki M. Factors associated with anatomic and visual outcomes in acute retinal necrosis. *Jpn J Ophthalmol* 2013 Jan;57(1):98-103.

Hirukawa K, Keino H, Watanabe T, Okada AA. Enhanced depth imaging optical coherence tomography of the choroid in new-onset acute posterior scleritis. *Graefe's Arch Clin Exp Ophthalmol* 2013 Feb 5. [Epub ahead of print]

Trusko BE, Jabs DA, Thorne JE, Belfort R, Dick AD, Gangaputra S, Nussenblatt RB, Okada AA,

Rosenbaum JT and the Standardization of Uveitis Nomenclature (SUN) Working Group. Development of a clinical evidence base utilizing informatics tools and techniques for the standardization of uveitis nomenclature (SUN) project. *Methods Inf Med.* 2013 Feb 8;52(2). [Epub ahead of print]

Taki W, Keino H, Watanabe T, Okada AA. Enhanced depth imaging optical coherence tomography of the choroid in recurrent unilateral posterior scleritis. *Graefe's Arch Clin Exp Ophthalmol* . 2012 Mar 7. [Epub ahead of print]

Imai A, Sugita S, Kawazoe Y, Horie S, Yamada Y, Keino H, Maruyama K, Mochizuki M: Immunosuppressive properties of regulatory T cells generated by incubation of peripheral blood mononuclear cells with supernatants of human RPE cells. *Invest Ophthalmol Vis Sci* 53:7299-7309, 2012.

Rii T, Itoh Y, Inoue M, Hirakata A. Foveal cone outer segment tips line and disruption artifacts in spectral domain optical coherence tomographic Images of Normal Eyes. *Am J Ophthalmol* 2012;153(3):524-529.

Hirakata A, Inoue M, Hiraoka T, McCuen BW. Vitrectomy without laser treatment or gas tamponade for macular detachment associated with an optic disc pit. *Ophthalmology* 2012 Apr;119(4):810-8.

Ohtsuki M Inoue M, Uda S, Tada E, Hirakata A. Combining magnifying prismatic lens with wide-angle viewing system to enhance view of peripheral retina during vitreous surgery. *Retina*. 2012 Oct;32(9):1983-7

Nakayama M, Keino H, Enhanced depth imaging optical coherence tomography of the choroid in Vogt-Koyanagi-Harada disease. *Retina* 2012 Nov;32(10):2061-9.

Inoue M, Noda T, Ohnuma K, Bissen-Miyajima H, Hirakata A. Quality of image of grating target placed in model eye and observed through toric intraocular lenses. *Am J Ophthalmol* 2013 Feb;155(2):243-252.

Enaida H, Kadonosono K, Emi K, Inoue M, Soejima K, Ishibashi T. New micro forceps with high utility for various uses in microincision vitrectomy surgery (MIVS). *Retina* 2013 Jan;33(1):244-6.

Kawamura R, Shinoda K, Inoue M, Noda T, Ohnuma K, Hirakata A. Images of intracameral objects projected onto posterior surface of model eye. Acta Ophthalmol (in press)

Uchida A, Shinoda K, Matsumoto CS, Kawai M, Kawai S, Ohde H, Ozawa Y, Ishida S, Inoue M, Mizota A, Tsubota K. Acute visual field defect following vitrectomy determined to originate from optic nerve by electrophysiological tests. Case Rep Ophthalmol 2012;3:396-405

慶野 博：強膜炎の薬物療法. 日本の眼科 83:1225-1226, 2012.

気賀沢一輝：ロービジョンケアに役立つ精神療法の基礎知識. 日本ロービジョン学会誌 11:1-6, 2011.

気賀沢一輝：心因性視覚障害を解離, 転換の観点から考える. 神眼 29:147-156, 2012.

気賀沢一輝：心因性視覚障害の診断と治療. 心身医学 52:654-600, 2012.

Ⅲ. 著書(分担執筆、監修、翻訳、電子メディアを含む)

平形明人：20 ゲージ硝子体手術手技. 眼科手術 7 網膜・硝子体Ⅱ, p177-189, 文光堂, 東京, 2012.

平形明人：乳頭ピット黄斑症候群. 眼科手術 8 網膜・硝子体Ⅱ, p187-196, 文光堂, 東京, 2012.

平形明人：網膜症治療の現状と課題. 月刊糖尿病 Vol.5 No.1, p61-69, 医学出版, 東京, 2013.

平形明人：網膜剥離. 疾患・症状別今日の治療と看護 改訂版 3 版, p1372-1376, 南江堂, 東京, 2013.

慶野 博：分子標的治療薬とぶどう膜炎治療 専門医のための眼科診療クオリファイ 13 ぶどう膜炎を斬る. 園田康平編. 東京, 中山書店, 2012. p.130-137.

慶野 博：リウマチから学ぶ各種 TNF 阻害治療薬の使い方とぶどう膜炎への応用 専門医のための眼科診療クオリファイ 13 ぶどう膜炎を斬る. 園田康平編. 東京, 中山書店, 2012. p.138-142.

慶野 博：ぶどう膜炎診療の話題 Vogt-小柳-原田病の画像診断. Ophthalmic Foresight, 2012. vol17 No3.

井上 真. I 術中 SOS B 硝子体手術 3 網膜嵌頓. p51-53. 網膜硝子体 SOS. 医学書院 2012.

井上 真. I 術中 SOS B 硝子体手術 5 医原性裂孔 (アドバイス). p65-66. 網膜硝子体 SOS. 医学書院 2012.

井上 真. I 術中 SOS B 硝子体手術 1 6 高度な脈絡膜剥離眼への対処 p120-123. 網膜硝子体 SOS. 医学書院 2012.

井上 真. IX 術中合併症 II. 核落下. 眼手術学 5 白内障 p459-463、文光堂 2012

井上 真. 硝子体手術の器具・材料. 器具・ラインの設置. P145-149. 眼手術学-網膜硝子体 I. 文光堂、2012 年 9 月.

井上 真. 広角観察システムによる手術手技. 特殊眼内レンズでの眼底観察法. P258-260. 眼手術学-網膜硝子体 I. 文光堂、2012 年 9 月.

井上 真. 眼外傷 (眼内異物を含む). IV. その他の網膜・硝子体手術. 眼手術学-網膜硝子体 II. P241-243、文光堂、2012 年 9 月.

井上 真. 手術相談室. 症例呈示 高度近視に伴う黄斑円孔(Q&A). 眼科手術 25 巻 2 号 Page253-257、2012

井上 真. 眼内レンズ脱臼の現状と対処法. 眼内レンズ縫着の合併症(解説/特集). 眼科手術 25 (2) : 178-184, 2012.

井上 真. 眼内腫瘍 (網膜芽細胞腫、脈絡膜腫瘍ほか). 眼科ビジュアルブック、p234-239、学研、2013 年 4 月

井上 真. より低侵襲なトリプル手術. Eye Surgery Now 11. p128-135、メジカルビュー社、2012 年 8 月

井上 真. IX術中合併症 II. 核落下. 眼手術学 5 白内障 p459-463、文光堂 2012

井上 真. 「FORUM/合併症 I—糖尿病網膜症」糖尿病網膜症と血糖コントロール. プラクティス 29(1), 12-14, 2012.

井上 真. 「FORUM/合併症 I—糖尿病網膜症」糖尿病網膜症と抗 VEGF 療法. プラクティス 29(2), 132-133, 2012.

井上 真. 「FORUM/合併症 I—糖尿病網膜症」糖尿病黄斑浮腫と腎症. プラクティス 29(3), 240-242, 2012.

井上 真. 専門医のための眼科診療クオリファイ「糖尿病眼合併症の新展開」、増殖糖尿病網膜症の治療/硝子体手術の治療と予後、p82-86、中山書店、2013年2月

井上 真. 【特集】小切開 IOL 縫着時代. 小切開縫着時代の破囊核落下に対する術式. IOL&RS27(1) : 3-6, 2013

山添 克弥, 横田 怜二, 堀田 順子, 堀田 一樹: 円錐角膜に原因不明の網膜ジストロフィが合併した1例. あたらしい眼科 29 : 863-868, 2012.

今野公士: 特集② 知っておきたい眼科の知識-専門医の診方・治し方 眼脂・鼻涙管閉塞. 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 84: 739-742, 2012.

今野公士: 眼手術学.2. 眼瞼 : V 眼瞼腫瘍 2. 良性腫瘍 瞼縁 P.169-173. 文光堂 2012.

今野公士: Chapter 4 眼瞼疾患, Chapter 5 涙器疾患, Chapter 15 腫瘍. 眼科疾患ビジュアルブック, P.85-89, P.97-104, P.240-243, 学研, 2012.

鈴木由美, 富田香: 弱視 小児科 (診断・治療指針). 遠藤文夫編, 中山書店, 東京, p. 977-988, 2012.

鈴木由美, 富田香: 視線があわないので心配です、目はいつ頃、見えるようになりますか 小児科診療. 診断と治療, 東京, p. 2139-2142, 2012.

鈴木 由美 富田 香 1か月ですが、目やにがつづいています 小児科診療. 診断と治療, 東京, p. 2135-2138, 2012.

渡辺敏樹, 気賀沢一輝: 眼科疾患ビジュアルブック. 視神経・視路 P8-9 眼球運動 P29-33
瞳孔と瞳孔異常 P34-37 眼筋と眼筋麻痺 P38-41 視神経・視神経症 P73-77 視神経萎縮
P78-80 うっ血乳頭 P81-84, 学研メディカル秀潤社, 2013.

五月女典久: 眼科疾患ビジュアルブック眼瞼炎、麦粒腫、霰粒腫ほか、眼瞼痙攣 P 90-94.

IV. 受賞、特許等知的財産関係、学会主催、報告書)

平形明人: 加齢に伴う眼の病気. ステラ Mook NHK ラジオあさいちばん 健康ライフ p8-18,
東京, NHK サービスセンター, 2012.

平形明人: 特集 網膜裂孔・網膜剥離. 目と健康シリーズ No.12, p1-6, 東京, 株式会社創新
社, 2012.

平形明人: 本号の見どころ. Ophthalmic Foresight17 : No.3, p3, 2012.

平形明人: 恩師を語る. 銀海 No. 222, p30-31, 千寿製薬株式会社, 東京, 2013.

平形明人: 黄斑下手術の現状と課題. 平成 24 年度次世代医療機器評価指標作成事業 再生医
療審査 WG 報告書, p37-53, 2013.

慶野博: 文部科学省 科学研究費補助金 基盤研究 C (平成 23 年度-平成 25 年度) レチノイド
を用いた眼炎症疾患における視神経、神経網膜保護の試み.